

各 位

会社名 興研株式会社
 代表者名 代表取締役社長 酒井 宏之
 (JASDAQ・コード番号: 7963)
 問合せ先
 役職・氏名 執行役員経理部長 長坂 利明
 電 話 03-5276-1911 (大代表)

(訂正・数値データ訂正あり)

「平成23年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

平成24年2月6日に公表いたしました「平成23年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載内容について、一部訂正がありましたので下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所については訂正前と訂正後を添付のうえ、下線を付して示しております。

1. 訂正の理由

決算短信発表後に改めて精査したところ、キャッシュ・フロー計算書について訂正を要する事項が判明したため、これに関連する箇所の訂正を行いました。

2. 訂正の内容

(訂正箇所1)

(サマリー情報)

1. 平成23年12月期の業績(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(3) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
23年12月期	761	△607	△915	1,048
22年12月期	1,092	△170	△779	1,809

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
23年12月期	<u>630</u>	<u>△530</u>	<u>△860</u>	1,048
22年12月期	1,092	△170	△779	1,809

(訂正箇所2)

(添付資料2～3ページ)

1. 経営成績

(2) 財政状態に関する分析

②キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

(省略)

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は7億61百万円（前事業年度は10億92百万円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益が10億12百万円となったことと、売上債権の増加等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億7百万円（前事業年度は1億円70百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億95百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は9億15百万円（前事業年度は7億79百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純減額10億円、長期借入金の純増額2億95百万円及び配当金の支払額1億26百万円等を行ったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年12月期	平成22年12月期	平成23年12月期
自己資本比率	47.1	51.2	51.7
時価ベースの自己資本比率	22.9	23.5	29.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	6.0	5.6	7.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ	10.3	11.9	10.8

(省略)

(訂正後)

(省略)

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6億30百万円（前事業年度は10億92百万円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益が10億12百万円となったことと、売上債権の増加等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億30百万円（前事業年度は1億円70百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億18百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は8億60百万円（前事業年度は7億79百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純減額10億円、長期借入金の純増額2億95百万円及び配当金の支払額1億26百万円等を行ったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年12月期	平成22年12月期	平成23年12月期
自己資本比率	47.1	51.2	51.7
時価ベースの自己資本比率	22.9	23.5	29.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	6.0	5.6	<u>8.6</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ	10.3	11.9	<u>9.4</u>

(省略)

(訂正箇所3)

(添付資料15～16ページ)

4. 財務諸表

(4) キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)	当事業年度 (自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)		
その他	82,037	△40,822
小計	1,565,247	980,900
(省略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,092,832	761,516
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△254,246	△695,539
(省略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170,094	△607,047
財務活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)		
リース債務の返済による支出	△65,461	△84,107
(省略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△779,762	△915,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	142,975	△761,005
現金及び現金同等物の期首残高	1,666,031	1,809,006
現金及び現金同等物の期末残高	1,809,006	1,048,000

(訂正後)

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)	当事業年度 (自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)		
その他	82,037	<u>29,618</u>
小計	1,565,247	<u>849,712</u>
(省略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,092,832	<u>630,328</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△254,246	<u>△618,999</u>
(省略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170,094	<u>△530,507</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)		
リース債務の返済による支出	△65,461	<u>△29,459</u>
(省略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△779,762	<u>△860,827</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	142,975	△761,005
現金及び現金同等物の期首残高	1,666,031	1,809,006
現金及び現金同等物の期末残高	1,809,006	1,048,000